

News Letter



Techno-Ocean 2023 / COP28の出展

■ Techno-Ocean 2023

Techno-Oceanは海洋の科学技術に関する国際コンベンションとして1986年から神戸において隔年開催されており、コロナ明けの今年はTechno-Ocean 2023として神戸国際展示場にて 10月5日から7日の3日間で、延べ 8000名弱の参加者を集め盛会の内に終了しました。

今回の SIP第3期「海洋安全保障プラットフォームの構築」(以下、SIP3海洋プログラム)のブース展示では、今年度より始まった「SIP3海洋プログラム」における海洋観測の現状と開発目標について紹介させて頂きました。具体的には、SIPの第2期までの成果の紹介と併せ、「SIP3海洋プログラム」が目指す海洋資源開発の未来像を示すとともに、「江戸っ子1号」によって撮影された漁場などでの海底のビデオ映像の展示を行いました。展示ブースの前では、企業

関係者ばかりでなく、今回特に学生を中心とする多くの若い参加者が集まり、たくさんの質問を頂きました。改めて若い世代が高い関心を示してくれたことに驚きを隠せませんでした。

同時に、Techno-Ocean 2023で開催されたシンポジウム「環境に配慮した海底鉱物資源の開発を目指して」において、「SIP3海洋プログラム」の山本啓之海洋環境影響評価システム開発 テーマリーダーが「SIP3海洋プログラム」における環境影響評価システムの構築に向けた取り組みについて解説をするとともに、その後のパネルセッションでは、「今後の課題」についてパネラー間で議論が交わされ、資源開発と環境問題についての国際機関での論議、関連する国際条約の状況、社会的受容のための情報発信の在り方等について、貴重な意見交換の機会となりました。

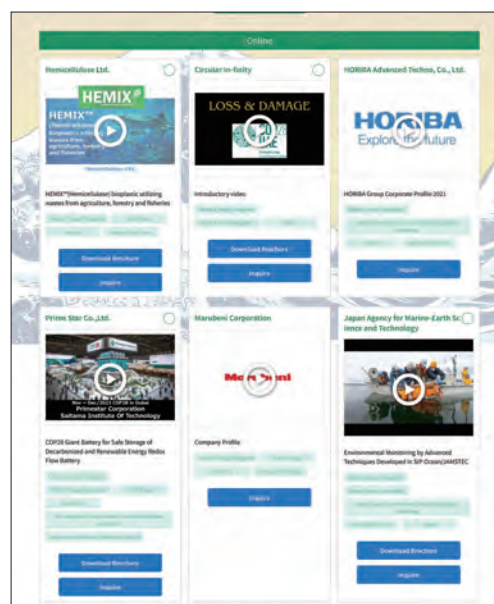


■ COP28

2023年11月30日から12月13日(現地時間)にアラブ首長国連邦(UAE)のドバイにて国連気候変動枠組条約第28回締約国会議(UNFCCC-COP28)が開催されました。会議では日本の取り組みを紹介するため「ジャパン・パビリオン」が設置され、現地での機器展示及びビデオとネット上のページによるオンライン展示が実施されました。このパビリオンにおいて、SIP海洋プログラムが開発してきた環境モニタリングの技術をオンライン展示することができました。

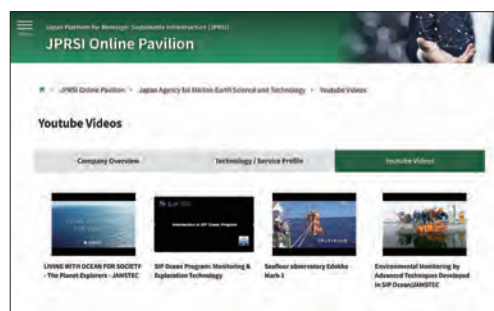
第3期の海洋プログラムでは、海洋ロボティクスによる広域モニタリング、海底鉱物資源開発や海底下CCSなどに対応する環境モニタリングと環境影響評価のシステム開発を進めています。この環境モニタリングの技術は、気候変動による環境影響のモニタリングと評価に必要なデータ収集に貢献できると考えています。

COP28は無事に閉会しましたが、SIP海洋の環境モニタリングの技術については環境インフラ海外展開プラットフォーム(Japan Platform for Environmentally Sustainable Infrastructure)において今後も紹介してまいります。



COP28 JAPAN PAVILION

URL : <http://copjapan.env.go.jp/cop/cop28/en/>



環境インフラ海外展開プラットフォーム

URL : <https://jprsi.go.jp/ja/member/612>

